
研究活動報告

特別講演会

イブ・シャルビ教授 「マルサス再訪～発展について（人口，経済，宗教）」

2013年3月21日（木）午後4時より，当研究所にて，フランス・パリ大学デカルト校教授，CEPED（フランス人口開発センター）所長のイブ・シャルビ氏が「マルサス再訪～発展について（人口，経済，宗教）」と題する講演を行った。

シャルビ教授はまず，CEPEDの活動内容について概説された後，本題であるマルサスの人口論について，その内容は版を重ねるうちに論点の変容しており，その中で矛盾が見出されること，その矛盾の独自の解釈について説明された。

質疑応答では，幾何学的増加と算術的增加の違いはあるか，マルサスの時代の出生調節について，農村部と都市部の違いが反映されていたか，マルサスの考える慈善事業とは社会保障につながる思想であったのか，といった点が議論された。（林 玲子記）

日本人口学会2012年度・第2回東日本地域部会

日本人口学会2012年度第2回東日本地域部会は，2013年3月23日（土），中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

- 「兵庫県の還流移動（Uターン移動）—配偶関係に注目して—」
..... 貴志匡博（国立社会保障・人口問題研究所）
- 「札幌市の配偶関係別純移動率1995年-2000年：推計モデルと国勢調査再集計の比較」
..... 原 俊彦（札幌市立大学）
- 「わが国の出生率回復における地域差の要因分析」..... 石井憲雄（東北大学）
- 「新宿区の将来人口推計—将来の住宅供給を考慮したコーホート・シェア延長法の提案—」
..... 丸山洋平（新宿区新宿自治創造研究所）
- 「日本における政治不信の拡大」..... 三船 毅（中央大学）
中村 隆（統計数理研究所）
- 「東日本大震災が被災地事業所の雇用に与えた影響」..... 鈴木俊光（内閣府）
（貴志匡博記）

日本地理学会2013年春季学術大会

日本地理学会2013年春季学術大会が2013年3月29～31日（31日は巡検のみ）に立正大学熊谷キャンパス（埼玉県熊谷市）において開催された。一般発表196件，ポスター発表87件のほか，9つのシンポジウムで62件の発表があった。人口関連分野の報告も多数行われた。以下，主なものについて発表題目を紹介する。